

平成25年3月5日

FD部会

平成24年度群馬パース大学FD部会年次報告（まとめ）

今年度は、平成23年度に受けた日本高等教育評価機構による認証評価の意見を参考に、組織的なピアレビューの遂行のための仕組み作りに取り組みつつ、ピアレビューを実施した。また、群馬パース大学FDポリシーの制定を受け、切磋琢磨しながら大学力向上という目標に向かって、具現化を着々と進めた。

1. 「学生による授業評価」結果の組織的取り組み

1-1. 授業評価用アンケートの公開の周知

ホームページ上で「学生による授業評価結果」の科目ごとの集計結果をpdf化し、閲覧できるようにしたことに対するPRをステークホルダーである学生に行った。

1-2. 教員向け授業アンケートの総括に対するレスポンスシートの改善

学生が記入したアンケート調査結果に対する教員のレスポンスシートの内容を改善すべく検討した。

2. 相互授業見学（ピアレビュー）の導入

実施期間：2012年11月19日～12月21日

相互授業公開科目数 29科目（NS 10.PT19） 担当教員19名（NS9.PT10）（最高4科目公開/人）
相互授業見学科目数 教員19名（NS8.PT7）（最高4科目受講/人）
無受講者科目 13科目（NS2.PT11）
相互授業感想報告書提出率 100%（22通/22人） 授業振り返り用紙提出率 50%（8通/16通）
受講教員内訳 NS5.PT6.MT2 計13名

>導入に伴う混乱もなく、円滑な運用ができた。更に、受講者(見学者)の利便性を高める試みとして、授業公開日程表に場所(教室番号)を付記することが課題として挙げられた。

3. FD研修会・ワークショップの開催

3-1. 平成24年度第1回FD研修会

FD研修会のテーマは、喫緊の課題に対する必要性から決定された。ピアレビューの導入に的を絞った本学FD活動における屋台骨を強化策の一環として、「信州大学医学部保健学科におけるピアレビューと学生による授業改善アンケートの概要について」と題し、信州大学医学部保健学科理学療法学専攻 木村 貞治教授による講演を平成24年8月29日(水)午後15時30分-17時15分で実施した。

(質疑応答を含む)参加者には研修に対する証明となる証明書を発行し、さらなるFD活動へのモチベーションの向上を図る試みを行った。

出席者 49名 回収数 44名分 回収率 89.7% 事後アンケートで満足したと回答した割合は

93.2%であった。

これら研修会の様子は、ホームページへ掲載された。

3-2. 平成24年度第1回FDワークショップの開催

平成24年度研修会のテーマと事後アンケート結果より、「ピアレビューを生かす」を企画した。2013年2月20日午後16時から18時、1号館801-803にて実施した。夏の研修会後のアンケートに記された、WSで取り上げて欲しい題材として、授業設計やITの活用があったことから、これらへの対応策としてグループワークの利点を増やし、欠点を補うとされるワールドカフェ形式（コアメンバーのみ残りグループ全体が流動しながら、それぞれのグループの課題の集中型討議、ブレインストーミングを行うグループワーク）で実施した。WS前に主要なピアレビューの結果を配布し、興味を高める工夫をした。ピアレビューの長所と、改善点について共通認識を有し、次年度に生かすことを目標とした。

出席者 37名 回収33名分 回収率 89.7% 事後アンケートで満足したと回答した割合は91.0%であった。

これらワークショップの様子は、ホームページへ掲載された。

4. 定期的なFD部会開催とFD活動報告の作成、年報への収録

月1回定例にて会議を開催し、FD活動の企画・運営、情報収集など実施。

5. FDネットワークつばさなど外部セミナーへの参加による 情報授受

・平成24年度は、FDネットワーク“つばさ”協議会より発信されるメーリングリストにFD部会長のアドレスを追加し、情報共有に務めた。

6. 今後の活動について

平成25年度は、引き続き、学内外の情報収集や連携に加え、学生の能力向上に訴求しうる教育方法の実践性を高める工夫に務め、本学における教育のあり方を深めるため取り組んでいきたい。

1) 「学生による授業評価」結果の組織的還元から活用（継続）

i) 実習科目用アンケートの作成（検討）

ii) 形成的評価の実施（継続）

・初期段階、中間実施などを視野に講義に活かすためのアンケート作成を今後も協議

2)ピアレビューの定着、授業改善に生かす取り組みの検討（継続）

3) FD活動の活性化・充実化に向けた情報授受（継続）

①FDネットワークつばさや地大学のFDセミナーへの参加（継続）

②FD-SD連携に関する情報収集（継続）

5)FD研修会開催（継続）

外部講師を招いての研修や学内研修など（継続）

6)FDワークショップの開催（継続）

非常勤講師の参加も踏まえたワークショップ開催に向けた準備（継続）

(参照)H24年度 FDワークショップでディスカッションしたいテーマとしては以下の順に多かった

- ・授業についていけない学生の対応（15件）
- ・実習で問題となる学生の対応（12件）
- ・実施した相互授業見学（10件）

7) FD活動報告書（pdf等での公開可能性を踏まえ）の作成、年報への収録（継続）

8)次年度FDに対するニーズについて高い項目は以下の通りであった。

学生指導においては1 学生のマナー：授業中の私語、飲食、携帯電話 27%、成績評価 21%

授業に関しては授業デザイン（教授法・教育工学的手法）100%、ピアレビュー 94%、初年次教育 94%

(参照)H25年度のFD活動として実施したいこと、としては以下の順に多かった：

- ・関連している授業担当者間での授業内容検討（20件）
- ・相互授業見学（15件）
- ・グループワーク、演習、実習等を中心とした補助者役割のある相互授業見学（6件）

以上